

# かんじる学校



えんげき  
えんげきのための演劇ワークショップ

こんにちは！

みなさんは「ウソをついたらいけません」

とママやパパや先生せんせいにいわれたことはありますか？

ぼくは小学生しょうがくせいの頃、よくいわれました。

でもじつは、えんげきをするときにはウソをついてもいいんです。

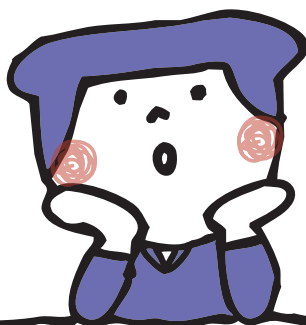
しかもホントをまぜてもいいんです。

こんかいのかんじる学校がっこうは、**ウソ**と**ホント**をグルグルまぜてみて

みんなであそんでみようと思っています！

こうし まつい しゅう  
(講師／松井 周)

～ **ウソ** と **ホント** のあいだであそぼう！～



11月18日(日)

午前9時半～低学年の部  
午後1時半～高学年の部

会場／相模女子大学・茜館

※詳しくは裏面をご覧ください。

[日時] 11/18 (日)

低学年の部 (小学校 1～3 年生) 9:30～12:00 (9:10 受付)

高学年の部 (小学校 4～6 年生) 13:30～16:00 (13:10 受付)

[会場] 相模女子大学・茜館

[定員] 各回 15 名

[参加費] 1,000 円 (保険料込・事前振込)

[募集締切]

10/22(月)

必着



### [募集方法]

①名前 (ふりがな) ②性別 ③学年・参加する回 (1. 午前 2. 午後)

④住所 ⑤電話番号 ⑥保護者の名前

をご明記の上、ハガキまたはメールにて「かんじる学校」宛にご応募ください。

※応募者多数の場合は抽選します。抽選結果は 10/29(月) までに応募者全員にお知らせします。

※1 回のお申込みで兄弟の同時申込みができます。

但し、抽選となった場合はそれぞれのエントリーとなりますのでご了承ください。

### [お申込み・お問合せ]

〒252-0303 相模原市南区相模大野 4-4-1

(公財) 相模原市民文化財団「かんじる学校」係

☎ 042-749-2207 ☒ bunka-kids@hall-net.or.jp



撮影: 平岩亨

松井 周 (演出家・劇作家)

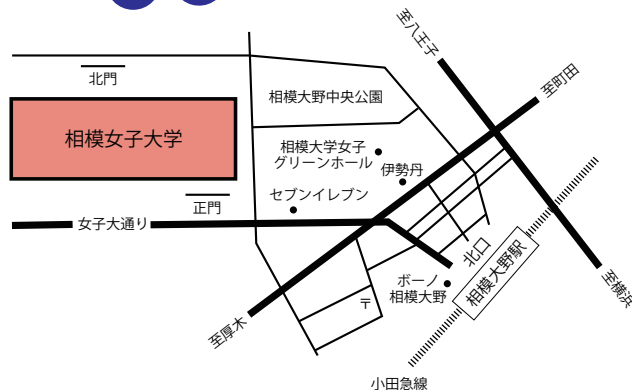
講師

1972 年、東京都生まれ。1996 年に平田オリザ率いる劇団「青年団」に俳優として入団。その後、作家・演出家としても活動を開始、2007 年に劇団「サンプル」を旗揚げ、青年団から独立する。2011 年『自慢の息子』で第 55 回岸田國士戯曲賞を受賞。2011 年さいたまゴールド・シアター『聖地』(演出: 蛭川幸雄)、2014 年新国立劇場『十九歳のジェイコブ』(演出: 松本雄吉)、2016 年 KAAT 神奈川芸術劇場『ルーツ』(演出: 杉原邦生) など脚本提供も多数。

松井周が描く猥雑かつ神秘的な世界の断片を、俳優とスタッフが継ぎ目なく奇妙にドライブさせていく作風は、世代を超えて広く支持を得

ている。独特な世界観は New York Times で「最も注目すべき演出家」と紹介され、戯曲は英語・フランス語・イタリア語・韓国語で翻訳されている。2016 年には「離陸」で台湾に初上陸、2018 年には「自慢の息子」で大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレとフェスティバル・ドートンヌ・パリに参加する。

会場



相模女子大学・茜館

(小田急線「相模大野駅」北口より徒歩 10 分)

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1

☎ 042-742-1411